

地域と子どもたちをつなぐ「おいごコスモス街道」開催

11月4日、借宿生子地区農村保全協議会が管理する「コスモス街道」で、生子菅小学校の全校児童、さしま保育園、地域の皆さんが参加する交流イベント「地域協働学習『おいごコスモス街道』」が開催されました。

小倉弘明校長先生は「子どもたちが地域の方々と触れ合い、郷土の文化や自然に親しむ貴重な機会になりました。こうした体験を通じて、郷土を愛する心を育んでほしいと思います。今後、地域と協力し、地域と共にある学校づくりを進めていきたいです。」と話していました。

児童たちは地域の温かさを感じながら、ふるさとの魅力を再発見しました。これからは学校と地域が手を取り合い、子どもたちの成長を支える活動が続けていきます。

この取組は、生子菅分館と借宿生子地区農業保全協議会の連携により実現し、今年で4年目を迎えます。児童たちはコスモスを種植えから育ててきました。また、猿島ばやし保存会の皆さんと一緒に、「猿島ばやし」を披露し、地域の方々への思いを込めて、歌や踊りを発表しました。

イベントの最後には、児童が沿道のコスモスを摘み取り、感謝の気持ちを込めて地域の皆さんに贈りました。その後、地域の方から採れたての野菜をプレゼントしていただき、子どもたち

